

漏斗胸・鳩胸・胸郭変形疾患 胸壁外科外来



メールでのお問い合わせ
kouhou@shonankamakura.or.jp



ホームページ検索



胸壁外科|

検索



電話でのお問い合わせ

0467-46-1717(代) 9:00~17:00

1. 対象となる疾患について

特徴①

胸がくぼんだ状態は漏斗胸(ろうときょう)、洋服の上からでもわかるほどに盛り上がった状態は鳩胸(はとむね)と呼ばれます。胸郭をつくる肋骨と前方の肋軟骨が長すぎるのが原因と考えられています。

特徴②

命にかかわる病気ではありませんが、小学生になると精神的な影響が表れてきます。成人の漏斗胸の方の60%以上に動悸、胸痛、息切れ、疲れ易さなどの身体症状があります。心臓や肺が胸壁によって圧迫されることによって身体症状が出ると考えています。

特徴③

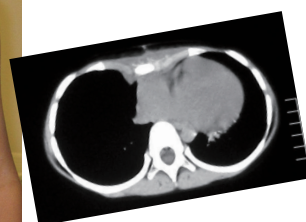
くぼみが左右にずれていたり、突出する部分があったり個人差があります。外見の診察で診断することが可能なので、当院では被爆が大きいCT検査は初診時には行いません。

5歳男児の術前・術後の比較

《術前》



《術後》



2. 手術

手術の 目安?

漏斗胸は寿命には影響しないので手術をする必要はないという考え方もあります。しかし、身体的、精神的な影響で悩んでいる方もいらっしゃいます。症状を軽減させるため、症状の発現を抑えるため、胸郭の発育を正常に保つため、精神的な負担を軽減するために、患者さんの握りこぶしとおおよそ同等以上の体積の陥凹がある場合には手術を行います。

手術の種類

ナス法

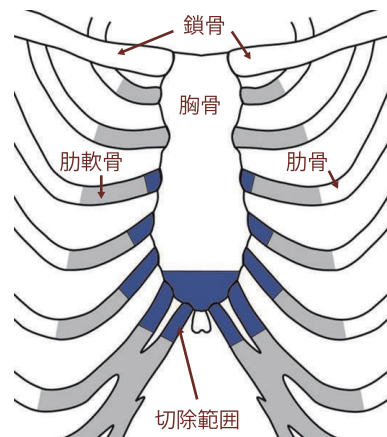
現在の漏斗胸手術は、側胸部から胸腔内に金属棒を留置し胸骨を裏側から押し上げるナス法が主流です。しかし異物の移動、出血、感染などの合併症が10%程度に起こることが報告されています。また痛みが続き鎮痛剤の長期内服を要し、日常生活への復帰が遅れることがあります。2～4年後に再手術で金属棒を取り出しますが、この期間は運動が制限されます。未就学児や成人への適応が難しいなどの問題があります。

当院の手術

私たちは1981年から行われている胸肋拳上術を独自に改良した術式を行っています。変形した肋軟骨の一部を切除した後再度縫合して、自己の肋骨が陥凹部を左右に引く力によって胸郭を矯正します。小児と成人にほぼ同様の術式が施行可能です。

術後について

手術後の入院期間は6日程度です。退院までに痛みはほぼなくなります。約1カ月で登校、勤務が可能です、3カ月目以降は全く運動制限はありません。



傷口は？

胸肋拳上術では前胸部に創が必要ですが、未就学男児の創は平均3.6cm、成人でも7.5cmです。

対象年齢について

幅広い年齢に手術が可能です。精神的な影響が現れる前の5～7歳が最も良いと考えています。

鳩胸の方は？

鳩胸の方にもほぼ同様の手術を行います。

実績

改良された術式は1994年以降に300人以上の方が受けられて、出血、輸血、肺炎、感染、再手術、再陥凹などの入院中、退院後の合併症はこれまでになく、身体症状、精神症状は術後に改善消失し、患者さんにご満足頂いています。

日本、米国、欧州の胸部外科学会機関誌などに胸肋拳上術の論文が採用されており、国際的に認められた方法です。

費用は？

診察、手術の費用は健康保険(3割負担)、自立支援医療(1割負担)の対象です。お子様の入院治療費の自己負担分を負担する自治体もあります。

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533
鎌倉市岡本1370-1

TEL: (0467) 46-1717 (代) FAX: (0467) 45-0190

URL: <http://www.shonankamakura.or.jp>

胸壁外科 漏斗胸 | 検索 | サイトにて漏斗胸の解説を公開中

診療時間	月	火	水	木	金	土
午後(14:00~16:00)					第2・4週	

※完全予約制 ※お問い合わせ時間 9:00~17:00